



やぎやま地区社協だより

思いやり 支え合い みんなで築く 福祉の輪



令和2年3月発行

《第38号》

■八木山みんなのカフェ(1月25日)

1月25日、八木山にお住まいの方々と交流できる場所・生きがいづくりの場所として月一回開催するサロン「八木山みんなのカフェ」が市民センターで開催されました。

今回は、松が丘で萩家庭料理教室を主宰されている高橋廣子先生と、東北工業大学副学長の菊池良覚先生をお迎えし、「冬の旬を語る・食べる・学ぶ」～ほっきめしと副菜を楽しむ～、という話で楽しい時間を過ごしました。

30名定員に対して32名の参加者、高橋先生と菊池先生の軽妙で楽しいやりとりで、「旬」とは何か、季節の料理とは何かを十分に理解でき、あっという間のカフェでした。参加者全員がまた話を聞きたいと異口同音に言っていました。



高橋先生と菊池先生の“旬”の楽しいやり取り

特に、「季節の色の食材＝“旬”を多く食べましょう」には大いに啓発させられました。春は緑、夏は赤、土用は黄、秋は白、冬は黒。五色は「五臓」に対応し、赤は心臓、緑は肝臓といった具合に、それぞれの内臓の働きを整えるということです。

そして、準備されていた今が“旬”の「ほっきめし」に舌鼓を打ってカフェは終了しました。

★八木山みんなのカフェは、八木山の住人誰でも参加できるオープンなカフェです。参加をお待ちしております。

■エリアボランティア研修会《感謝の会》(2月20日)

①八木山包括支援センター松永所長さんの近況報告と、松永所長さんオリジナルソング「365歩のマーチの替え歌」で「支え合い感謝の歌」の披露。ふれあいサロン等で使えるかも。

②区社協CSWの大久保さんから、一人ひとりの活動が「地域」をより良くしていく力になるとともに自分自身の生活を豊かにしていく力になることを体系的にお話していただきました。

特に「福祉とは、ふだんの くらしの しあわせ」という言葉が印象に残りました。出来ることを無理なくやることが大事。

③(感謝の会にふさわしく) 仙台ギターアンサンブル6名の皆様による圧巻の演奏、すごい感動を与えていただきました。最後にはギターの伴奏で「ふるさと」を参加者全員で合唱。

④地区社協常任理事の似内ひで子さんから「桜木町福祉推進員の取り組み・困りごと?」と題して、実際に取り組まれているナマの苦労話をしていただきました。大変参考になりました。

～エリアボランティアや地域の皆様66人の参加～



CSWの大久保さん



ストレッチ体操



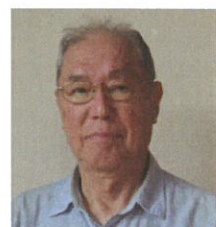
仙台ギターアンサンブルの皆さん

令和になってはじめての新年を迎えました。

平素は社協活動にご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年の八木山地区社協の活動は……。通常の事業活動の他に、各町内会から一名様以上の社協常任理事への参加をいただき、社協と町内会の橋渡しをお願いしたいと思います。具体的には、地域の皆様、特に高齢者の「日常生活の困りごと」等の問題を吸い上げて頂き、社協福祉活動推進員と各町内会福祉委員、エリアボランティアと協働して解決出来るような「共に助け合う」システムの構築を目指していきたいと思います。若干時間が必要とは思いますが、各町内会の福祉委員、エリアボランティアさん等の八木山地区社協常任理事への参加をお待ちしております。

～ごあいさつ～



八木山地区社会福祉協議会会長 佐藤 昭

■突撃！ 社協の現場紹介シリーズ 第2弾！

八木山東ふれあいサロン訪問記(12月9日)



■地区社協の西理事が八木山東好日庵を訪問し、サロンの実際を見学してきました。



エリアボランティア5名と参加者15名の総勢20名で、10畳ほどの部屋は満員状態。熱気に包まれて、本日のメインイベントはギター演奏。市民センターで練習されているグループ「アマビーレギターアンサンブル」のベテラン佐藤さんと岩屋さんにお越しいただきました。

※(アマビーレはイタリア語で“かわいい”の意味)

曲目は、禁じられた遊び、芭蕉布(沖縄)、北の国から、コスモス、ふるさとです。みんなそれぞれ、うなずきながら、目を閉じて聞き入っていました。最後のふるさとでは、ギター伴奏に合わせて皆で合唱。伴奏パートの佐藤さんのビブラートが美しかったです。

「やりたい時が、始めるとき、年齢は関係ない。70歳代で始められた方がいます」という岩屋さんの言葉には勇気づけられました。

美味しいケーキで歓談の後、小野寺さんの指導で懐かしい唱歌を歌って、会は終了しました。



■みやぎ生協 移動販売店「せいきょう便」のその後

昨年7月29日から町内会様や、社協様の協力を頂きながら運行を開始しました。八木山地区は月曜日、火曜日、木曜日の週3日の運行になっています。

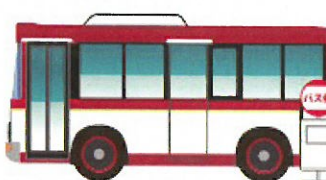
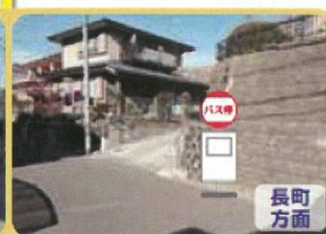
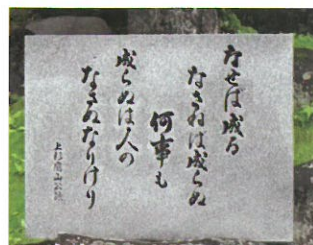
訪問地域は青山1～2丁目・緑ヶ丘2～3丁目・コープのお家緑が丘や桜木町・八木山南・八木山本町2丁目です。特に、八木山南公園では、毎週10名以上の方が立ち寄ってくださいます。毎週約80名程の方にご利用をいただいております。「自宅の近くで買い物ができて助かる」との声を頂いています。要望を頂いている地区もあり、できるだけ対応していきたいと考えています。今後共、よろしくをお願いします。（生協お買物支援室 相澤 課長さん）

移動販売店
「せいきょう便」



■青山・八木山バス通信

“なせば成る”ものですね。青山地区交通検討会の高橋秋男会長、おめでとうございます。平成25年1月から青山・八木山の住民が中心となり進めてきた青山～八木山のバス路線が、いよいよ実現することになりました。現在、4月運行に向け宮城交通が国の方に認可申請を行っております。皆さん、大いに利用しましょう。



※イラストはイメージです。
実際の車両とは異なる場合があります。

アオヤギくん

■社協の「な～に？」シリーズ 第1弾 赤い羽根共同募金って、な～に？



共同募金運動は、第二次世界大戦後、1947(昭和22)年に「国民たすけあい運動」として始まりました。「困ったときはお互いさま」の気持ちから、第1回日の共同募金運動ではおよそ6億円の寄付金が寄せられました。現在の貨幣価値にすると、1,200億円に相当します。

現在では、「社会福祉法」に定められた地域福祉の推進を目的に、さまざまな地域の課題解決に取り組む民間団体を支援する「じぶんの町を良くするしくみ」として、地域のさまざまな福祉活動を支援しています。

平成30年度募金実績 宮城県 381,426,814円 (歳末助け合い募金を含む)

募金の使い道

福祉

- 安全生活支援事業への配分(テント購入)
- 住民力・地域力・福祉力を高める事業への配分
(防犯防災・見守り活動・住民交流活動・日常生活支援活動など)
- 社会福祉施設に対する配分
- みやぎチャレンジプロジェクトへの配分 等



小地域福祉ネットワーク活動

- ・ふれあいサロン
- ・ふれあい昼食会

最近の地域力向上施策助成金(八木山地区)

平成25年	緑花町内会	250,000円
"	八木山東町内会	94,000円
"	青山第一町内会	238,000円
平成26年	八木山東町内会	250,000円
平成27年	若葉苑自治会	120,000円
平成29年	緑花町内会	90,000円
平成30年	八木山東町内会	180,000円

※その他連合町内会でもテント・地域力向上施策助成金を受けています

○赤い羽根共同募金は様々な福祉活動に配分され、福祉関係制度の狭間の潤滑油として活用されます。ただ、身近に感じられないことから義務感を感じられる方もおられますが……。

○町内会等でふれあいサロンや昼食会を開催した場合、社協経由で助成金を受け取っています。

○また、地域力向上に必要な施策が手元原資で賄えない団体等は、応募することによって助成金を受けることができます(審査があります)。

○応募に関してはNetや連合町内会を通じて町内会に周知されています。

《募金活動に参加》



○令和元年10月1日、太白区役所前で八木山社協から西事務局長、山城理事が募金活動に参加。まさに暑い盛り午後の1:00からの活動、ご苦労様でした。10月12～13日は台風の影響で中止。今年こそ大いに活動致します。

■赤い羽根共同募金 (令和2年2月末現在)

町内会名	募金額
青葉苑	55,000
青山	14,300
青山第一	82,000
青山二丁目	60,000
青山恵	50,000
恵和町	79,200
桜木町	198,000
さつき	4,500
松が丘	229,600
みつば	18,000
八木山八光台	53,100
八木山東	105,500
八木山本町第一	103,169
八木山本町二丁目	150,000
緑花	90,000
緑風会	17,000
若葉苑	38,000
各種団体(6地区団体)	30,000
法人団体(10法人団体)	95,000
合計	1,472,369

※ご協力有難うございました。なお、八木山での街頭募金については台風のため未実施。



「地区社会福祉協議会って、結局、何をするとところ？」…未だ、悩んでいます。

連合町内会・民児協等の諸団体と、究極の目的は同じではないか、境界線が明確に分からない……という中で悩んでいます。結局、それぞれの社協が決めるしかないのかも？

と、悩みながらも、今回は赤い羽根共同募金について「な～に？」シリーズ第一弾として取り上げてみました。

赤い羽根共同募金は私たちの地域のさまざまな福祉活動に役立っていることに改めて気づかされました。

ただし、その多くは応募方式による助成金。ただ待っていただけでは活用することは出来ないんですね。



(佐藤)